

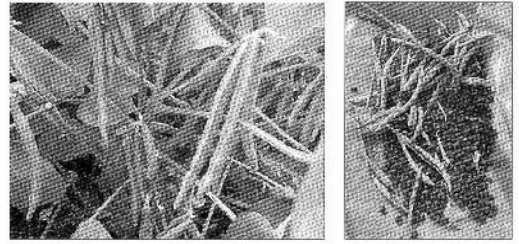
企画展

あずきの魅力

あずきは、『古事記』や『日本書紀』などの歴史書にも記されているように古くから人々の生活と密接に結びつきながら、日本のあずき文化として伝えられてきました。

赤い色をしたあずきには、特別の力があると信じられ、年中行事や人生儀礼（誕生・結婚・葬送）には欠かせないものとして大切に扱われてきました。

今回の企画展は、古くから伝わるあずき文化と共に、農耕社会から大きく変化した現代にも伝わる地域の民俗について展示します。また、あずきを原料とした食品として馴染み深いあんパンについて、その発明者であり、郷土にゆかりのある木村安兵衛を紹介します。



6月ごろ種をまき、10月ごろに収穫できます。

赤いあずきの力

古代から赤い色には霊力があると信じられてきました。江戸時代の錦絵には御幣・鏡餅が赤く描かれ、赤飯も供えられています。



麻珍送出しの図（内藤記念くすり博物館提供）

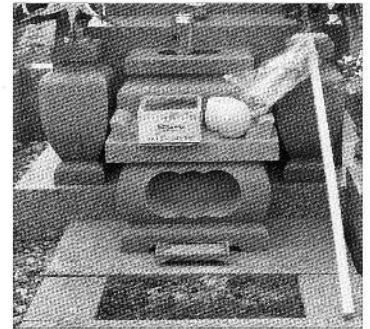
地域の祭事や仏事にもあずきの行事食は大切に伝えられています

毎年7月末に行われる八坂神社祭礼の馬洗いの神事に赤飯を神様にお供えします。



八坂神社祭礼（馬洗い）

亡くなられた方の49日の法要に、無事に剣の山を登りあの世に辿りつけるようにとぼた餅をわら草履の裏に塗り、杖に吊るしてお墓に供えるという風習があります。



49日法要

<関連事業>

講演会

演題：「あんパンの発明者 -木村 安兵衛-」

日 時：10月12日（土） 13:30～15:00

会 場：龍ヶ崎市歴史民俗資料館

2階多目的室

受 講 料：200円（あんパン付き）

募集人員：50名（定員になり次第締め切ります。）

申込方法：9月20日（金）10:00より電話予約
または資料館窓口にお申込み下さい。

お問合せ：龍ヶ崎市歴史民俗資料館

TEL 0297-64-6227

FAX 0297-64-6360

〒301-0004

茨城県龍ヶ崎市馴馬町2488

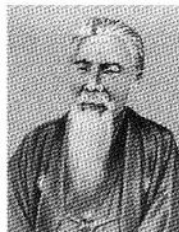
主 催：公益財団法人龍ヶ崎市まちづくり・文化財団



中島座（具係略曾我・大鼓曲獅子）

中島座の明治20年正月興行の宣伝に描かれたもので右端に「木村屋」の文字が記されています。

（吉田コレクション 画像提供虎屋文庫）



木村安兵衛肖像画

（木村屋總本店提供）



桜あんパン